

2021年2月10日

各位

会社名 アライドアーキテクト株式会社
 代表者名 代表取締役 CEO 中村 壮秀
 (コード番号: 6081 東証マザーズ)
 問合せ先 経営企画室長 大野 聡子
 (TEL 03-6408-2791)

通期連結業績予想と実績値との差異及び為替差損の計上に関するお知らせ

2020年11月13日に公表いたしました、2020年12月期通期(2020年1月1日~2020年12月31日)連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。また、為替差損を追加計上しましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 2020年12月期通期連結業績予想と実績値との差異(2020年1月1日~2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,150	百万円 230	百万円 -	百万円 -	円 -
実績値(B)	4,192	298	231	173	12.35
増減額(B-A)	42	68	-	-	-
増減率(%)	1.0%	29.8%	-	-	-
(参考)前期実績 (2019年12月期)	4,087	△157	△192	△281	△20.08

2. 差異理由

売上高につきましては、前回予想4,150百万円に対し1.0%増の4,192百万円となりました。これは、当第4四半期連結会計期間においてソリューション事業の広告運用案件の受注・売上が想定以上に増加したこと等によるものであります。

営業利益につきましては、前回予想230百万円に対し29.8%増の298百万円となりました。これは、粗利率の低い広告運用代行案件の売上が想定を上回った一方、粗利率の高い海外SaaS事業等で売上の期ずれが発生したことにより、売上総利益は想定をやや下回ったものの、販売費及び一般管理費のうち人件費及び貸倒引当金繰入額等の決算関連コストが想定を下回ったこと等によるものであります。

経常利益につきましては、為替変動の影響が業績に与える影響を考慮し予想を公表しておりませんが、経常利益は前期実績△192百万円(経常損失)に対し424百万円増の231百万円となりました。これは、当連結会計年度においてSaaS事業や中国進出支援事業等の粗利率の高い事業の売上が増加したことに伴い、売上総利益が前期比202百万円増の2,056百万円となったこと、また、生産性向上やコストコントロールにより販売費及び一般管理費が前期比253百万円減の1,757百万円となったことに伴い、営業利益が前期比455百万円増の298百万円になったことによるものであります。また、決算作業の過程において、第4四半期連結会計期間における為替相場の変動により当社が保有する外貨建債権について為替差損を追加計上し、第3四半期連結累計期間に比して為替差損が21百万円増加し42百万円となりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、為替変動のほか、当社が保有する投資有価証券の価値の変動が業績に与える影響を考慮し予想を公表しておりませんでした。前期実績△281百万円（親会社株主に帰属する当期純損失）に対し、454百万円増の173百万円となりました。これは、経常利益が増加した一方、非上場の投資有価証券3銘柄について47百万円の投資有価証券評価損を計上したことによるものであります。

以上